

学校教育目標

自ら考え行動し、共に学び合う児童の育成 ～勇気・本気・元気～



- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・第4期千葉県教育振興基本計画
- 「人生をしなやかに切り拓き、千葉の未来を創る「人」の育成
- ・新木更津プラン
- 「自立する力と共生する姿勢」

経営の方針

- ①適切な言葉かけや評価を重視し、児童の自己肯定感を高める
- ②教職員が学び続けながら互いの専門性を認め合い、チームとして成長していく組織で教育活動を進める
- ③教育の環境を整え、家庭・地域と連携し児童の人間形成に努める
- ④学校評価の反省から、重点目標を設定し、組織的な活動を進める

理念

- ・本校教育の目的「学びを通じた人間形成」
- ・理想とする学校の姿「安心・安全な学校」
- ・学校教育目標の主旨「人間として調和のとれた児童」

重点指導目標

主体性を伸ばす→児童のやる気を刺激する ～褒める・励ます・認める～

- 一校内研究—研究主題
- 「主体的に取り組む児童の育成」

目指す学校像

重大交通事故0件 重大学校事故0件

- 木更津第二笑(しょう)楽(がっ)幸(こう) 笑顔いっぱい・楽しさいっぱい・幸せいっぱい
- 毎日通いたくなる学校
- 自他を大切にする豊かな情操を育む学校
- 家庭や地域に信頼される学校

目指す児童像

- 徳 ○思いやりのある子(勇気)
- 知 ○自分の考えをもち本気で学ぶ子(本気)
- 体 ○たくましい子(元気)

目指す教師像

働き方改革 (超過45h/月以内)

- 児童に寄り添い、自己肯定感を育む教師
- 和を大切にする人間性豊かな教師
- 自己の資質・能力向上を図る教師

共感的理解と肯定的な言葉かけを重視した教育実践を通して

徳

知

体

- ・気持ちのよい挨拶をする(自立)
- ・互いの人権を大切に、支え合う(共生)
- ・自己肯定感をもち、主体的に活動する(中学年重点) (自立)

- ・自ら学び、考え、解決する(自立)
- ・互いに学び合い、共に成長する(共生)
- ・望ましい学習習慣を育み、進んで家庭学習・読書をする(自立)(高学年重点)

- ・規則正しい生活を送る(自立)
- ・運動に親しみ、目的をもって取り組む(自立)
- ・挑戦し、互いを高め合う(共生)(低学年重点)

「児童の心に寄り添って」

- ①温かな学級づくり
共感的理解と肯定的な言葉かけ
(困ったときに相談できる先生がいる 80%)
- ②道徳教育の推進
- ③教育相談活動の充実
(毎月の「心の健康点検」)
- ④人間関係づくりの場の工夫
- ⑤福祉教育の充実
- ⑥SDGs教育・環境教育の推進
木更津市のよさを生かす学習の充実
- ⑦情報モラルの高揚

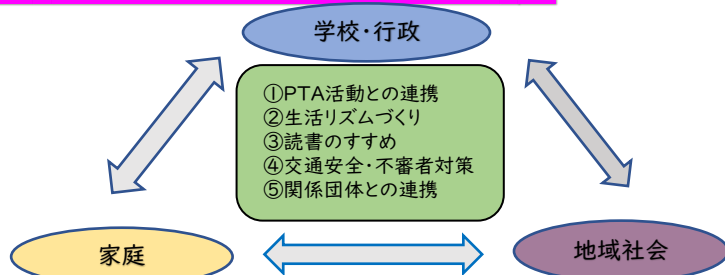
「本気で指導」

- ①授業力アップで意欲・学力の向上
- ②キャリア教育の視点からの指導
- ③国際理解教育の推進
- ④生徒指導の機能を生かした学級経営と授業の実践
- ⑤特別支援教育の充実
- ⑥家庭学習の習慣化
- ⑦読書活動の充実
- ⑧ICT機器を活用した授業の推進

「たくましい心と体」

- ①正課時体育のシステム化と充実(目標の明確化と適切な評価)
- ②体力向上を図る
(運動能力証合格率上昇)
- ③健康教育・食育の推進
(早寝・早起き・朝ごはん運動の推進)
- ④安全指導と安全管理の徹底
・「自分の命は自分で守る」指導の継続
(自転車・踏切・横断歩道)
・実践的な避難訓練の実施
・安全点検と迅速な対応

＝ トライアングル子育て運動 ＝



令和8年度 数値目標

- (木更津システム抜粋)
- 一児童自己評価一
 - ・毎月の読書70%(63%)
 - ・担任と会話70%(63%)
 - ・家庭学習 30%(21%)
 - ・学校満足度95%(90%)

※()内の数値は、
令和7年度1月の集計